

ぽすっと

2017年5月号 NO. 245

5月1日発行



今月のトピックス

地域の歴史に親しむ講座 津島商工の甲子園出場60周年



日時：5月21日（日）午後2時より *事前申込不要・無料

場所：図書館2階 第2集会室 講師：園田俊介氏（津島市立図書館長）

今から60年前の昭和32年（1957年）、津島を賑わせた大きな出来事がありました。津島商工野球部（現 津島北高校）が夏の甲子園大会出場を果たしたのです。当時の津島は「奇跡の快進撃」と喜びに沸き、新聞でも創部3年目で強豪校を破っての出場という、異例の事態を大きく取り上げました。今回、当時の様子を様々な資料をもとにご紹介します。

津島市、70年の物語

場所：図書館1階展示コーナー

津島は1947年（昭和22年）3月1日に市政が始まり、今年で70周年になります。半世紀以上前の歴史の中で津島の街はどう変わっていったのでしょうか。津島の人や街並み、祭りの様子など、昔の写真から津島を追憶してみましょ。

駅ブックポストが移動します

今まで津島総合案内所にあったブックポストですが、駅切符売り場の反対側に移動します。ぜひご利用ください。

※視聴覚資料（CD・DVD）は返却できませんのでご了承ください。

郷土の新聞を展示しています （随時掲示中）

1階展示コーナーにて海部・津島地域の新聞記事を展示しています。この地方に関する懐かしい記事です。40年前の新聞から当時は振り返ってみましょ。

5月26日はラッキーゾーンの日

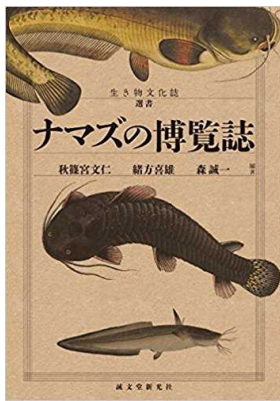
1947年、甲子園球場にラッキーゾーンが設けられました。ホームランがたくさん生まれ、甲子園名物とも言われましたが、平成に入り1991年に撤去されました。今回は甲子園にまつわる本を集めてみました。

- 『高校野球100年』 朝日新聞出版 783.7コ
- 『弱くても勝てます』 高橋秀実/著 新潮社 783.7タ
- 『愛知の高校野球』 ベースボール・マガジン社 783.7ア
- 『さいとう市立さいとう高校野球部』 あさのあつこ/著 講談社 913.6ア
- 『ブラバン甲子園大研究』 梅津有希子/著 文藝春秋 764.6ウ



新 着 図 書

『**ナマズの博覧誌**』 秋篠宮文仁 緒方喜雄 森誠一／編著 誠文堂新光社 487.6 ナ



ナマズは長いヒゲと大きな口を持った世界中に多種多様に生息する特徴的な魚です。この本はナマズについて様々な分野で研究した内容となっており、秋篠宮文仁殿下も執筆に参加されています。

中でも殿下が担当、執筆したナマズをモチーフにした品々は、郷土玩具・刀の柄・お守りなど、ナマズが土地ごとに親しまれているのが分かります。また、最大の淡水魚としてギネスにも載った「メコンに棲む神の使いプラブック」についての生態、伝承など詳細な研究報告も書かれており、世界のナマズ事情が凝縮されたためずらしい本となっています。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『津島短編小説コンテスト』 ←「津島」をテーマにした短編小説。102点の応募の中から受賞作を収録。
- 『東京クルージング』伊集院静/著 ←ある番組で知り合った青年。彼が思いを寄せていた女性の謎とは。
- 『おまつり万歳!』たかぎなおこ/著 ←自らお祭りを取材したエッセイ漫画。愛知や三重の祭りも紹介。
- 『中学レベルで洗練された英会話ができる本』濱田伊織/著 ←中学で習った英語で英会話が十分楽しめる。
- 『ビジュアル恐竜事典』←雑誌 Newton 掲載作を書籍化。最新の考証をもとにイラストでリアルに再現。
- 『40代から食べるなら、どっち!?』渡辺雄二/著 ←脂肪が落ちない40代。食べる物も選択が必要。
- 『なぜ、コメダ珈琲店はいつも行列なのか?』高井尚之/著 ←地元だけでなく全国で愛される喫茶店の謎。
- 『ハンドメイドイベント出展ガイドブック』 ←お店を出すまでの行程を紹介。綿密な計画で出店準備を。
- 『アルミホイル超楽レシピ』浅野曜子/監修 ←器にしたり折り曲げたり、アルミホイルでおいしい料理。
- 『草花たちの静かな誓い』宮本輝/著 ←叔母の訃報から行方不明の娘がいたという驚きの事実を知る弦矢。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

23日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

